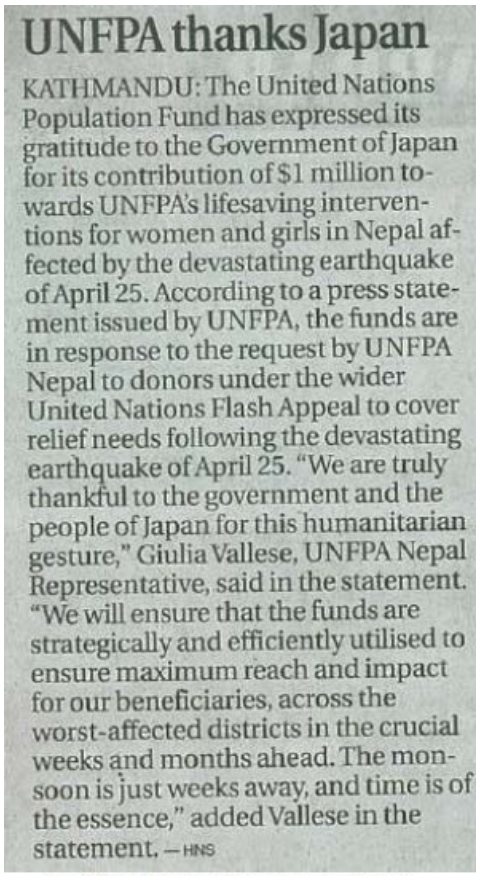
ネパール地震の被災者支援のための日本政府からの支援　活動報告

2015 年 4 月 25 日にネパール中西部で発生したマグニチュード 7.8 の地震による被災者には、最も被害の大きかった地域で女性と少女 140 万人が暮らしており、そのうち被災中に 98,000 人が妊娠し、28,000 人がレイプ被害のアフターケアを必要とする状況であると推定されました。

日本からネパール被災女性への支援

日本政府は、5 月 12 日に被災地の女性と少女たちに対して国連人口基金（UNFPA）が行う救命活動に対し、100 万米ドルの緊急無償資金協力を実施しました。その拠出金を受けて、UNFPA では他のパートナー団体と協力し、被災女性と少女たちのために様々なサービスを提供しました。女性用衛生キットと尊厳回復キットの配布、移動式リプロダクティブ・ヘルスキャンプなどの包括的なサポート、被災地域のジェンダーに基づく暴力に対応する支援のために母子ユニットや女性専用スペースの設置や、2016 年 1 月以降は、日本政府と他の国際援助とを合わせて、6 地域に設置した女性専用スペースの運営に支援しました。



UNFPA thanks Japan

KATHMANDU: The United Nations Population Fund has expressed its gratitude to the Government of Japan for its contribution of $1 million towards UNFPA's lifesaving interventions for women and girls in Nepal affected by the devastating earthquake of April 25. According to a press statement issued by UNFPA, the funds are in response to the request by UNFPA Nepal to donors under the wider United Nations Flash Appeal to cover relief needs following the devastating earthquake of April 25. "We are truly thankful to the government and the people of Japan for this humanitarian gesture," Giulia Vallese, UNFPA Nepal Representative, said in the statement. "We will ensure that the funds are strategically and efficiently utilised to ensure maximum reach and impact for our beneficiaries, across the worst-affected districts in the crucial weeks and months ahead. The monsoon is just weeks away, and time is of the essence," added Vallese in the statement. — HNS

日本政府の援助に感謝するネパールの新聞記事

「女性専用スペース」の設置

ジェンダーに基づく暴力から女性を守る取り組みとして、地域の人々と協力しながら女性専用スペースを 6 地域 (ラスワ郡、ドラカ郡、シンドゥ・パルチョーク郡、オカルドゥンガ郡、シンドゥリ郡、ドルカ郡）に設置しました。それぞれの女性スペースには、責任者、育児、清掃、調理担当者の職員、心理カウンセラー、会計、支援相談員、そして 5 人のが訪問支援員が配置されています。また全てのスタッフが女性の権利に特化した「ジェンダー、ジェンダーに基づく暴力、セクシャル・リプロダクティブヘルス」に関する 3 日間の研修を受けました。

（写真 : 女性専用スペース）

（写真 : 緊急用リプロダクティブ・ヘルスキャンプ）

Om Maya Tamang, an earthquake survivor, at the Female Friendly Space in Rasuwa, where she received care, support and advice.

Local police and community people setting up a thermal tent for the FFS in Okhaldunga district.

（写真左：ラスワ郡の女性スペースで支援を受けているオム・マヤ・タマンさん）
（写真右：女性スペースに保温テントを設置しているオカルドゥンガ郡の警察と地域住民）

女性専用スペースで行われた女性を守るための活動

① ジェンダーに基づく暴力に関する意識向上のための説明会
② 心理カウンセリングと緊急対応
③ ジェンダーに基づく暴力の被害者への対応
④ レクリエーション活動
⑤ 寒冷対策パッケージの配布
⑥ ジェンダーに基づく暴力の被害者への生活支援
⑦ 「国際女性デー」記念イベント
⑧ 職員の能力強化のための研修
⑨ UNFPA の通常の支援との連携

An outreach programme in the community school in Dolakha district.

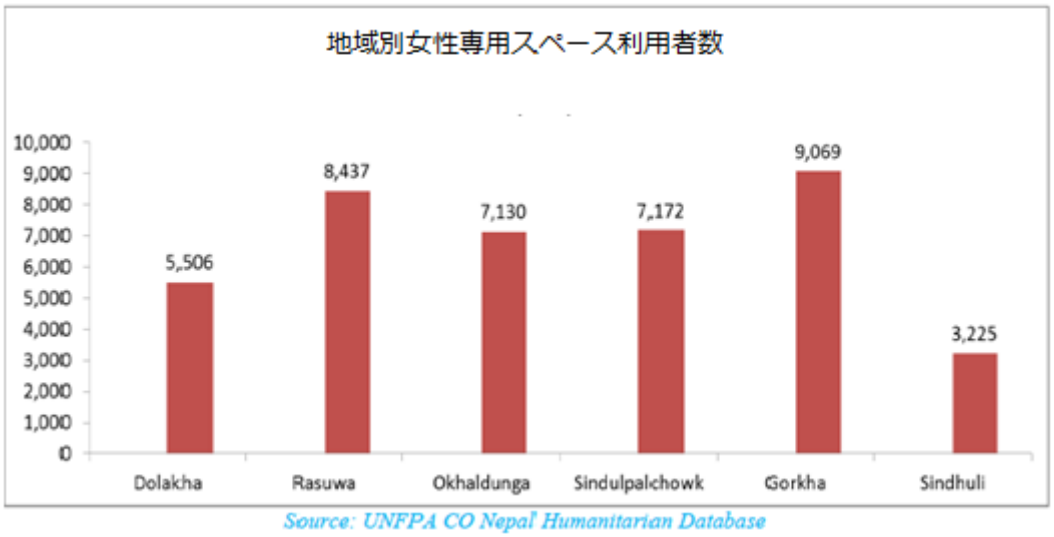
（写真：ドラカ郡の学校で行われた女性をジェンダーに基づく暴力から守るための啓発活動）

Psychosocial counseling and psychosocial first-aid activities were incorporated from the onset.

（写真：ジェンダーに基づく暴力の被害にあった女性に対して、心理社会的カウンセリングが被災直後から実施された）

女性専用スペースを利用した女性は 40,000 人以上

6 地域に設置された女性専用スペースを通じて、性差別による暴力から女性を守る活動の支援を受けた女性は、2016 年 1 月から 7 月までの 6 カ月間に 40,539 人に上りました。



Source: UNFPA CO Nepal' Humanitarian Database